

VDP- μ システム専用プロセサー

P- μ LC850

- 環境負荷の低減
- 製版コストの軽減
- 自動現像機メンテナンスの負担軽減



特長

環境負荷の低減

現像処理が従来の3液処理から1液処理となり、処理液の交換サイクルが従来の約2倍に伸びます。

廃液量が従来比の約5分の1となり、環境負荷の低減が可能となります。

製版コストの軽減

1液処理への運用方法の変更により、処理液コストおよび廃液処理コストの軽減が可能となります。

自動現像機メンテナンスの負担軽減

1液処理のため自動現像機の液槽も従来の3槽から1槽に減り、液交換時の自動現像機の汚れも軽減していますのでメンテナンス作業が軽減します。

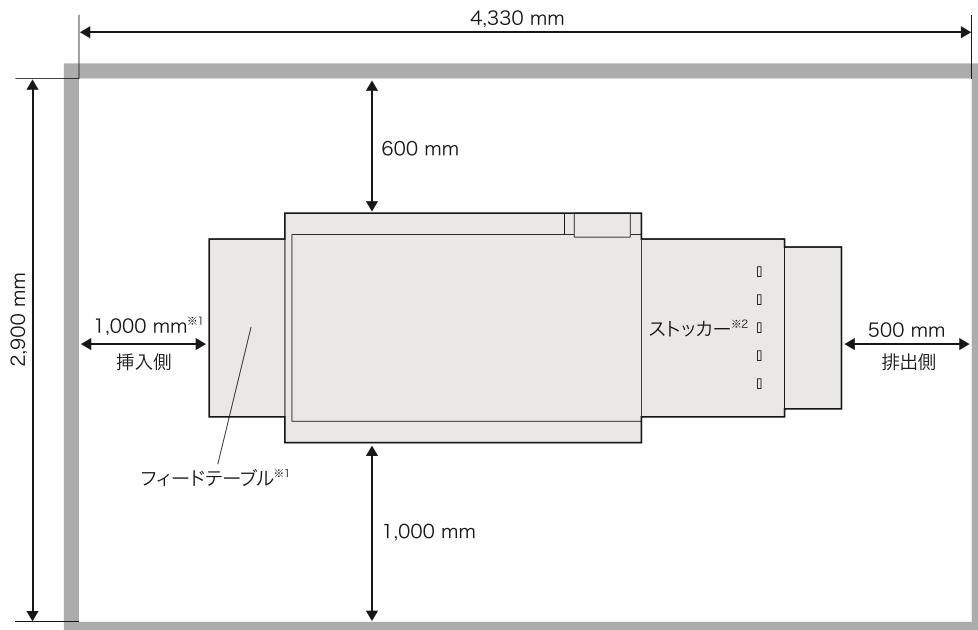
※処理液コスト交換サイクルは、出力条件により変わります。
詳細はダイヤミック株式会社 営業担当者にお問い合わせ願います。

仕様

プレートの種類	三菱製紙VDP-μプレート
通紙可能なプレート幅	200~850mm
通紙可能なプレート長さ	290~1,180mm
通紙可能なプレート厚み	0.15~0.30mm
処理工程	プレヒート→ケミカル処理→乾燥
搬送速度(標準設定値)	40~140cm/分 (110cm/分)
ブラシスピード(標準設定値)	60~150rpm (150rpm)
フィニッシャー槽タンク容量	23 リットル
フィニッシャー外部タンク容量(サブタンク)	17 リットル
フィニッシャー液交換サイクル目安*	800m ² 処理もしくは2ヵ月
プレヒート設定温度(標準設定値)	70~145°C (110°C)
フィニッシャー液槽設定温度(標準設定値)	20~34°C (28°C)
ドライヤー設定温度(標準設定値)	30~55°C (55°C)
機械寸法(上部カバーを閉めた状態)	幅130、長さ129、高さ114 (cm)
機械重量	255kg
電源	単相200V 20A
消費電力	2,700W

設置スペース (オフラインでの使用)

通常操作を行うために下記のスペースが必要となります。



※1. VIPLAS等に直接接続する場合には、必要な設置スペースが変更します。(オプション)

※2. ストッカーは一例です。他のストッカーを使用する場合には作業スペースが変更となります。(オプション)

三菱製紙株式会社

印刷感材営業部

〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号 両国シテココア 03(5600)1475

URL <http://www.mpm.co.jp>

三菱製紙株式会社代理店



ダイヤミック株式会社

本社/〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号 両国シテココア

URL <http://diamic.jp>

本 社 03(5600)1570(代) 名古屋支店 052(251)9741(代) 広島営業所 082(567)9700(代)
東京支社 03(5600)1590(代) 福岡支店 092(281)4135(代) 高松営業所 087(868)0801(代)
大阪支社 06(6264)8832(代) 長野営業所 026(222)5481(代) 鹿児島営業所 099(257)8228(代)
札幌支店 011(281)1991(代) 金沢営業所 076(252)8161(代)
仙台支店 022(296)3221(代) 京都営業所 075(344)5528(代)

販売店

※文中の各社商品名、社名は各社の登録商標です。

※本カタログの仕様は改良のため変更されることがあります。